

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市笹野台地域ケアプラザ

■ 事業報告

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

笹野台地区は昭和 30 年頃から開発が始まった新興住宅地で、半世紀以上の歴史を有しています。戸建住宅が中心の住宅街で、集合住宅は比較的少ない地域です。笹野台地区は、連合自治会、地区社会福祉協議会などが中心となり、さまざまな活動が活発に行なわれていますが、地域を支えているボランティアなどの担い手は高齢化してきています。昔からの近所付き合いがご逝去により途絶えてきていること、自治会未加入の世帯や、老人会未加入者の増加により、近隣住民把握が難しく、交流の機会が減ってきています。また、階段や坂が多く起伏が激しい地域の為、外出が困難になっている方や、認知症により買い物ができなくなり、苦慮している方が多いことが課題です。笹野台地区高齢化率は、30.07%と全国平均より高く、65歳以上の1人暮らしや夫婦世帯が31%と多い地域となっています。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

1. 個別相談、ケアプラザの自主事業、地域ケア会議や地域会合、イベントへの参加など様々な機会を通じ、地域の社会資源や活動の情報収集をすると共に地域課題の把握に努めました。定例カンファレンスや緊急のケースは随時、行政地区担当と情報を共有、同行訪問するなど、迅速、適切な支援に努めました。区役所子ども家庭支援課、旭区地域子育て支援拠点「ひなたぼっこ」と子育て支援として「公園遊び」の定期的開催を引き続き行いました。担当エリア内の小学校・放課後キッズクラブ・保育園・地域子育てサロン関係支援者と連携を図りました。区役所障害者支援担当や若者支援横浜西部ユースプラザと連携し、引きこもりの方の就労支援として、ケアプラザでのボランティア活動が行えるよう支援しました。

2. ケアプラザから離れた地区での、出張サロンや地域の方が集いやすい自治会館での介護予防講座の実施など、地域へ積極的に向き、より多くの方に参加いただけるよう努めました。顔の見える関係作り、些細な相談ごとでも、ケアプラザ（地域包括支援センター）を活用いただけるよう地域の総合相談窓口として周知活動に努めました。平成30年11月18日笹野台地区社会福祉協議会と協同で寸劇と講習会「ケアプラザってなーに?!」を笹野台自治会館で開催しました。毎月老人会定例会へ広報紙・チラシを持参し、班回覧にて情報発信をしました。今年度は、出張サロン12回/年、出張講座11回/年（出張サロンで介護予防教室を含む）を行い、より身近な場所での活動を支援しました。

3. 地域の相談窓口としての周知を図るため、自治会単位で行われている、みまもり活動の定例会議へ参加を行いました。商店街の役員会にて認知症サポーター養成講座を開催し、地域での見守りネットワーク強化を行いました。

(2) 各事業の連携

- 1.朝のミーティング、所内会議など日常的に情報共有し、動きの見える連携に努めました。職員会議においては、他部署の業務を知り、課題を共有するなど、協力体制の強化を図りました。職員会議以外に部署ごとの会議と、5職種会議での情報共有と方向性の確認を毎月行いました。
- 2.ケアプラザから離れている地域に出向き、出張サロンを定期開催しました（地域活動交流、地域包括支援センター、生活支援共催）。地域情報・課題を共有し、ニーズの把握、課題解決に向け連携した事業展開に努めました。
- 3.閉じこもり予防や認知症予防の必要な方への支援として、地域活動交流の自主事業へ繋げるなど連携した支援を行いました。また、自主事業や自主活動の参加者から気になる方、支援の必要とされている方を地域包括支援センターと情報共有することで、必要な方への早期支援に努めました。
- 4.個別支援をする中で、地域課題につながる事例を包括エリア地域ケア会議の中で検討し、地域全体で課題としてとらえ、事例検討への住民参加を促しました。孤立という課題を地域全体として最優先事項であるという共通認識を得ることが出来ました。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- 1.人材育成を「階層研修」と「専門研修」の二つの視点から、人財部(人事・労務管理部門)を中心とした各種の階層別（新任者・中堅職員・指導的職員・管理職・統括経営職）研修と、介護保険サービスのカテゴリーに呼応する事業部門(通所介護事業部、訪問看護事業部など)主導で行われる専門、職種別研修を研修の縦横の軸として、当ケアプラザは、部署ごとの年間計画に沿って研修を受講し、その後回覧にて情報共有し、職員会議にて適宜勉強会を開くことにより、資質の向上に努めました。
人員体制：平成30年1月1日～6月30日生活支援コーディネーター欠員でしたが平成30年7月1日～現在は着任をしております。
- 2.人材育成として、定期的な管理者との面談と年2回の人事考課によって職員の働きを公正・適正に評価を行いました。定期面談以外でも職員は誰でも希望に応じて管理者、所長等と面談をすることができ、働き方についての相談など課題解決が必要なときには、組織として対応を行いました。
- 3.居宅介護支援、地域包括支援センター（予防介護支援）は、コンプライアンス、事故防止、苦情解決、個人情報保護、感染症対策、高齢者虐待防止等の項目を立て、地域活動交流、生活支援を含めた4部署で年間計画を立てて研修を実施しました。
- 4.階層別研修、専門・職種別研修（介護技術や相談技術の向上等）を実施することで、さまざまな角度からの人材育成が可能になっています。こうした研修は法人内で企画されるものだけに限らず、行政、横浜市社会福祉協議会等が主催する研修や講習会、研究会等も積極的に活用し、法人内の研修と組み合わせ、職員の知識の向上に努めていきました。
- 5.防災特別避難所、福祉避難所訓練、インフルエンザ・ノロ感染症対応等については地域ケアプラザ全体で、研修を行いました。
- 6.法人事業部で、同職種の課題解決ができるよう各職種分科会を4回/年開催しました。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

1. 笹野台地区社会福祉協議会の常任理事会・評議員会・ささえあい連絡会へケアプラザ職員がメンバーとして参加し、連合自治会等の地域行事・地区社会福祉協議会との共催事業など様々な場面で、地域の福祉活動支援団体、関係機関と情報共有・地域課題に適切な対応ができるよう関係づくりに努めました。
2. 笹野台地区ささえあい連絡会の一員として(支援チームの一員)第3期地区別計画を推進しました。ささえあいネットワークの第3期地区別計画について、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターが定例会議に出席し情報の共有を行いました。
3. 毎年恒例の笹ケア文化祭(趣味探訪展)を開催し、登録団体の発表会・作品の展示会を通じ、活動の周知と団体間の交流を深めました。毎年団体交流会を開催し、情報提供や情報共有を図りました(448名参加)。
4. 地域ケア会議を活用したネットワーク構築に努めました。今年度は、地域ケア会議個別会議1回/3か月、包括エリア会議2回/年を実施しました。区と共同で作成した、旭区地域ケア会議のリーフレットを活用し、地域の方々へ広報をしました。身近で参加いただけるよう自治会館での開催を促し、近隣の方の参加をいただきました。

(5) 区行政との協働

1. 地域福祉保健計画・地区別計画の推進・地域の顔の見える関係づくり・ジュニアボランティアの支援・認知症サポーター養成講座の開催など、地域の課題を抽出し、区計画を意識した取組に努めました。地区担当及び各分野の担当と定例カンファレンスや連絡会の場で情報共有や情報交換を行いました。
2. 毎月の定例カンファレンスの場において、地域ケア会議の運用方法や介護保険改正に向けた事業方針について話し合い、今後活発に事業展開できるように努めました。
3. 毎月の定例カンファレンスの場において、処遇困難対応時、行政地区担当の職員より助言・指導を受けるよう努めました。
4. 区と旭区内地域ケアプラザが協働して作成した、ケアプラザがわかるリーフレット(ケアプラザってなーに?!)を活用し、笹野台会館にて地区社会福祉協議会と協働により講習会を行いました。
5. 元気作りステーション・みな元気あさひが継続できるよう後方支援に努めました。
6. 行政・笹野台連合自治会地域防災拠点と協同し、平成30年11月29日福祉避難所訓練を行いました(64名参加)。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

1. 「介護予防への取組」として、地域包括支援センターと共催で初心者向け脳育体操を実施しました。「ボランティアの発掘・育成」では小学生対象のケアプラザ寺子屋、笹ケア文化祭で登録団体のボランティアの活躍の場を提供し、シニアボランティアポイント対象事業の拡大と新規登録者を増やしました。
また、「地域福祉保健計画」が推進出来るように区行政地区担当者と「ささえあい連絡会の障がいへの理解グループ」と話し合いの場を設けることが出来ました。
2. 地区社会福祉協議会と協同で福祉講座を開催しました。地域福祉保健活動の拠点として地域福祉保健計画推進や福祉保健に関する事業や活動のための貸館業務、福祉保健活動の担い手の支援やボランティア育成について講話をしました。
地区保健活動推進員会共催のズンバゴールドは普段ケアプラザ利用の少ない30代～40代の子育て世代の方に参加いただきました。旭区食生活等改善推進員と稔の世代向けに食から始めるフレイユ予防を開催し、地区の健康づくり普及活動に努めました。
3. 子育て支援拠点との共催事業も子育て支援者会場や自主事業参加者に積極的に宣伝

し、新規参加者を増やしました。

4. 養護学校教員の講義や発達障がい疑似体験が出来る障害事業、工房アリアーレの通所の方が教えるクラフト作りでは、地域住民と通所者に自然と繋がりが生まれました。障がいの理解を目的として、10月7日に福祉的要素を含む音楽フェスタを開催しました。

5. ジュニアボランティアが活動出来る場の提供として、ケアプラ寺子屋や特別養護老人ホームで施設利用者と地域の方との交流を図りました。

6. 0歳児からの企画では、人気の高い英会話の要素も取り入れ、親子で楽しい時間を過ごす事業を行いました。自主事業のアンケートで、講師、開催曜日を変更する等、地域の声を反映しました。また、登録団体交流会を実施することで、お互いにつながる機会を提供しました。

7. シニアボランティアポイント登録研修会講座参加者が植木の剪定など自主事業の庭師集団ボランティアの活動につながりました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

1. 広報紙やホームページ、チラシでケアプラザの紹介を載せ、貸館の利用促進を図りました。

2. 福祉保健活動団体が、ボランティア活動に参加出来るようなきっかけづくりや多世代交流、活躍の場を提供しました。

3. 利用者が快適に活動出来るように設備、備品の整理を行いました。災害時対策として、館内に福祉避難所についてのお知らせを掲示し、受け入れの基準等チラシで周知しました。また、貸館の確認表と全部屋に避難経路の案内を貼りました。インフルエンザ・ノロ感染症対応等については保健師の指導で地域ケアプラザ全体が学び、二次感染対策を講じています。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

1. ボランティア登録の方がボランティアを始められるように「地域活動交流事業」や「自主事業」における活動の場を広げました。住民相互のつながりを深め、楽しみながら助け合える地域づくりに取り組みました。

2. 子育て支援拠点と共催の公園遊びや、こども食堂等、子育て世代の繋がりを活かし、福祉と触れあうきっかけづくりを心掛けました。

3. ケアプラ寺子屋、笹ケア文化祭、ティータイムコンサートなど登録団体が事業を企画し、日頃の成果を発揮できる福祉保健活動の機会の提供と活動支援をしました。

4. 小学生サークルメンバーにケアプラザ事業での司会や受付のボランティア活動の場を提供しました。中学校の職場体験では、地域包括支援センターに認知症サポーター養成講座を依頼し、認知症の方との接し方を学び、理解を深め、高齢者向け体操教室やサロンに参加し、高齢者とふれあう体験をしました。

5. よこはま西部ユースプラザと地域の引きこもり状態から回復期にある若者の就労訓練として、ボランティア活動、居場所を提供し、継続的な支援をしました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

1. 常任理事会・評議員会・ささえあい連絡会に出席し、情報共有・連携・後方支援をしました。連合自治会、地区社会福祉協議会、自治会単位の行事に足を運び、関係性の構築に努めました。

2. 町内会のケアプラザ掲示板チラシを見やすくするなど、より多くの方の目にとめていただけるようにしました。

3. Facebookに事業宣伝やチラシにQRコードを取入れるなど、幅広い世代の方に情報発信しました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- 1.自治会館単位のサロンと認知症カフェの後方支援として地域包括支援センター、地域活動交流、生活支援コーディネーターが連携し、携わりました。ささえ愛ふじみは、サロンとして月1回定例開催となり平均27名の参加をいただきました。
- 2.元気づくりステーション、みな元気旭！ステーションやサークル活動に参加し、ニーズの把握に努めました。
- 3.地域の会合、かがやきクラブ笹野台支部の定例会、行事に出向き、関係性の構築に努めました。
- 4.担当地域の社会資源を整理し、情報の可視化を行いました。開所以来笹野台地域ケアプラザにご相談いただいた方と支援者の情報のマップへの落とし込みを行いました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- 1.笹野台地域ケアプラザ自主事業、サークル活動、元気づくりステーション、みな元気旭！ステーションの活動場所に出かけ、関係性の構築と情報発信を行いました。
- 2.地域のニーズ把握を行うため自治会サロンや、ささえあい連絡会と協同に行ったアンケートの集計・分析を行い、連合自治会、笹野台地区ささえあい連絡会の中で情報発信を行いました。
- 3.前年度の2回目の包括レベル地域ケア会議で民生委員とケアプラザの認識を一致させ、今年度の取組として高齢者の生活課題が介護保険制度等で整備されているものと、されていないものがある事を見える化し、住民周知を行いました。

(3) 連携・協議の場

- 1.民生委員、ボランティア団体代表者、生活支援第1層コーディネーター、店舗の方とで、買い物についての課題について会議を行いました。
- 2.笹野台地区社会福祉協議会で行われている移動支援の定例会へ参加し、活動上の実情と課題の把握を行いました。
- 3.笹野台地区社会福祉協議会と連携しながら「ケアプラザってなあに」と題して、ケアプラザの役割や5職種各々の仕事内容について地域住民に対して講座を開催し、広く情報を広めました。
- 4.個別地域ケア会議に参加し、地域課題の把握に努めました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- 1.旭区社会福祉協議会、旭区内の13ケアプラザが協働で、サロンや施設等で協力できるボランティアのマッチング会を開催し、旭区内、各地区の施設、笹野台地区社会福祉協議会、民生委員などの各団体と情報共有の機会を持ちました。
- 2.担当圏域内にある施設に対し、ボランティアができる団体、個人の情報提供を行いました。
- 3.区役所、旭区社会福祉協議会などで開催される外部研修へ参加をし、自己研鑽に励みました。
- 4.他区でのサロンを現地視察し、高齢者が地域の中で役割をもって活動・生活する現場を見ることで今後のサロン運営の検討を行いました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

- 1 個別レベルの地域ケア会議を4回/年、包括レベルの地域ケア会議を2回/年、開催しました。個別レベル地域ケア会議を自治会館で開催し、地域の方が参加しやすく、テーマを身近に感じていただける環境づくりに努めました。
2. 笹野台地区民生委員・児童委員協議会へ四半期に1回、計4回参加し、対組織としての関係を強化しました。個別ケースについて民生委員からの情報提供や相談をいただける関係を継続しました。
3. ささえあい連絡会リーダー会議、地域行事、関係機関主催の会合などに出席し、ネットワークの構築に努めました。毎月関係機関をはじめ、交番や商店街、医療機関など概ね40件、担当地区へ広報紙を持参して訪問し、顔の見える関係づくりや情報共有に努めました。成果として近隣の交番と、気になる高齢者の情報交換を行い、連携した支援につながりました。笹野台地区社会福祉協議会の講演会で地域包括支援センターの総合相談業務をテーマにした寸劇を笹野台地区社会福祉協議会メンバーと一緒に実施し、地域包括支援センターの役割等を地域住民へ分かりやすく伝える方法についてもご意見をいただき対応することができました。

②実態把握

1. 広報紙、チラシをかがやきクラブ定例会に毎月持参し、介護予防事業の周知、ニーズ把握に努めました。介護予防講座などの希望を伺い、今年度は2箇所で開催しました。広報紙やチラシはかがやきクラブ内での班回覧もしていただき、より対象者へ周知できるよう協力いただきました。
2. 個別ケースや地域ケア会議を通じ、地域の現状把握に努めました。また、関係機関と情報共有し、連携した支援に努めました。地域の自治会館を会場に出張サロンを定期開催し、参加者のニーズに合わせたミニ講座の実施や個別相談などに対応しました。地域ケアプラザよりも身近な場所で、顔の見える関係づくりに努めました。
3. 地域ケア会議や民生委員等へのヒアリングによって、笹野台・金が谷地区では社会資源の有無にばらつきがあり、課題となっていることを把握しました。具体的には、かがやきクラブがすべての地区にあるわけではない、町内会に加入していない市営住宅は自主的な活動の場やボランティアの利用が難しい、といったことです。また、講座や地域活動の場では、参加者から近隣の気になる方の相談をいただき、支援へ繋げました。

③総合相談支援

1. 総合相談においては、コンピュータシステムを活用し、相談内容等をデータ入力後プリントアウトし、5職種で回覧しました。データは個人名で蓄積されるため、3職種だれもが経過を確認しながら状況把握できるようになっており、継続した支援を迅速に行いました。
2. 笹野台連合自治会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会等関係機関と、地域ケア会議、ケアプラザ自主事業、地域会合イベント等を通して顔の見える関係を構築。地域の中で心配と思われる方の情報提供を頂き、電話対応や訪問にて随時支援を行いました。
3. 民生委員の方々が担当する支援の必要な方の情報を共有し、連携してアプローチに努めました。当ケアプラザへ来所が困難な方に対しては自宅や入院機関等に訪問し、

状況把握し早期支援に努めました。

4. 定例カンファレンス等を通じ、行政地区担当者と情報を共有すると共に連携した支援に努めました。サービスに繋がらない方や連携した支援の必要な方など、訪問や電話、同行支援など安否確認・状況把握をし、課題解決に向け連携し、支援を行いました。

5. 介護者支援としては「介護者のつどい」を毎月開催しました。場所を笹野台地域ケアプラザ、小規模多機能事業所アルメリアの2箇所で実施して、ケアプラザまで距離のある方も参加しやすくなるよう工夫しました。情報交換や気持ちの吐露が自由にできる場づくりに努め、総合相談利用者に直接アプローチして参加を促しました。

6. ケアプラザから離れた富士見ヶ丘自治会館・小規模多機能施設アルメリア（金が谷）認知症対応型共同生活介護のみんなの家（金が谷）を会場としたサロンの定期開催を後方支援し、総合相談時に近隣サロンを紹介し参加につなげました。

7. 笹野台会館等での介護予防講座の開催など、より身近な自治会館などに出向くことで相談しやすい場作りに努め、11月には笹野台地区社会福祉協議会講演会で講座「ケアプラザってなーに？」を実施し、総合相談窓口の周知活動を行いました。

8. 精神障害や発達障害など、介護や高齢者の枠にとらわれず、ご利用者の相談を受け、関係機関への引継ぎや連携した支援に努めました。

（２）権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

1. 笹野台地区は戸建ての自宅、財産を有する方が多い地域であり、終活や相続への関心が高いことをふまえ、「備える講座」を全3回にて開催。住宅供給公社職員を講師に招き「高齢者の住まい」について、司法書士を講師に招き「遺言・相続の基礎知識」について講座を実施しました。また、地域サロンで旭区版エンディングノート活用に向けたミニ講座を実施しました。

2. 消費者被害防止のため、備える講座の1回を「消費者被害防止講座」とし、笹野台地区消費生活推進委員と連携し創作落語も交えて講座を実施しました。地域サロンでの講座実施の後方支援、広報紙等を活用した情報提供など、ご本人が有する権利を理解してもらうとともに、権利侵害の予防・発見、権利保障に向けた対応を行いました。

3. 個別対応においては、認知症や知的障害の方へ成年後見制度活用を積極的に提案し、パンフレット等を用いた説明、申立準備の支援を行いました。

後見類型だけでなく、保佐補助類型の対象レベルの方へも活用提案を実施しました。

②高齢者虐待への対応

1. 高齢者虐待ケース相談については、地域包括が初動に関わり、随時、区へ連絡相談し、連携協働した対応を迅速に行いました。虐待に至っていないがリスクが高いケースについても、ケアマネジャー同行訪問や継続的なモニタリングを積極的に行い、介護者支援や現状悪化の防止に取り組みました。

2. 毎月の定例カンファレンスの場等にて、区福祉保健センターより支援の方向性を確認、共有することで、的確な役割分担に基づき対応を行いました。

③ 認知症

- 1.区福祉保健センター及び関係機関と協働し、区徘徊 SOS ネットワークの普及啓発活動を継続しました。
- 2.地域サロン、商店街、小学生、中学生を対象に、地域交流部門と連携して認知症サポーター養成講座を実施しました。アルツハイマー一月間には認知症サポーター養成講座と併せて認知症を題材とした映画上映会を実施し、認知症の理解・普及啓発に努めました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 1.民生委員からの聞き取り、地域ケア会議などで知り得た情報から、資源の在り方や、連携の状況の把握によって、かがやきクラブの無い地区があり、それに伴い友愛訪問員などがいない（富士見）、高齢で活動ができない（東笹野台）などの違いがあるという現状を把握しました。
自治会、笹野台地区社会福祉協議会、民生委員、担当地区に居住する高齢者のケアマネジメントをしているケアマネジャー、高齢者住宅の相談員や担当地区にある交番などと情報共有するためには、地区への共有の仕方を検討する必要性を課題として認識しました。
- 2.地域ケアプラザの活動について笹野台地区社会福祉協議会のご意見を頂き、寸劇でケアプラザ紹介をし、機能の周知を図りました。
- 3.介護保険事業者の開催する運営推進会議に参加し、認知症グループホームのみんなの家において、地域向けのサロン事業を通じて後方支援を実施しました。
小規模多機能施設のアルメリアにおいて、生活の困りごとの出張相談を実施しました。
若年性の認知症支援について定期的に打合せをしました。
- 4.民生委員との情報交換を行い、地域課題の把握、情報共有、連携事業の検討を進める目的で、定期的に民生委員児童委員協議会に4半期に1回参加しました。その結果として、さらに連絡が円滑できるようになり、行政から民生委員へ相談のあった事例、旭区社会福祉協議会から相談のあった事例など、多問題事例についての相談があがるようになりました。
- 5.民生委員の依頼で、安否確認を目的に連携を取りながら、迅速、円滑に行う事例を通して、地域ケア会議を開催しました。

② 医療・介護の連携推進支援

- 1.圏域の医療機関・薬局を月1回訪問し、地域ケアプラザの活動について情報発信しました。地域ケアプラザ等PR用クリアファイルを医療機関に配布後、医師からの問合せが来るなど、関係構築につながりました。地域ケア会議に1診療所、1薬局が参加されました。
- 2.医療機関の相談室からの相談など、退院から在宅生活へのスムーズな移行をめざし、ケアマネジャー等関係各所への迅速な対応ができるように3ケアプラザ合同研修を開催しました。病院の機能ごとに、連携する上で踏まえるべきことが分かりました。
また、12月11日旭区ケアマネ連絡会で配布された病院情報シートについて情報共有ができました。
3. 医師・看護師・ケアマネジャー・訪問介護事業所等とのネットワーク構築を目的とした連絡会を開催し、エリア内の医療・介護機関が顔の見える関係を作る機会となりました。

③ケアマネジャー支援

- 1.主任ケアマネ交流会を旭区地域包括支援センター主任ケアマネジャー分科会と区との共催で平成30年6月に開催しました。
- 2.新入就労予定ケアマネジャーに対する研修を、旭区地域包括支援センター主任ケアマネジャー分科会と区との共催で平成30年9月、平成31年2月に開催しました。
- 3.旭区内を4分割しての地区別の3ケアプラザ合同でのケアマネジャー向け研修を川井地域ケアプラザ・若葉台地域ケアプラザと合同で年4回(6月、9月、12月、2月)開催しました。
- 4.平成30年7月、第1回の包括レベルの地域ケア会議を開催し、そこで笹野台地域ケアプラザとしては初めて、民生委員とケアマネジャーの管理者が地域課題の解決の為、検討をしました。
- 5.ケアマネジャーから支援困難事例の相談を受け、地域包括支援センター内で共有し、必要に応じて区福祉保健センターの職員と連携して対応することでケアマネジャーの支援をしました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- 1.年に4回の個別ケースの会議、年に2回の包括レベルの地域ケア会議を開催しました。地域ケア会議への参加依頼を受け1診療1薬局が参加されました。
- 2.ケアマネジャー支援として、多職種ネットワークの構築を目的にした医師・看護師・ケアマネジャー・訪問介護事業所等とのネットワーク構築を目的にした連絡会の開催を平成31年1月から3月で計3回実施しました。
- 3.地域課題の把握、情報共有、連携事業の検討を進める目的で、定期的に民生委員児童委員協議会に4半期に1回参加しました。

(5) 介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

- 1.介護保険代行申請時にケアマネジャーが必要と思われる時は早期から連携し、利用者が自分らしく暮らせるように主体性と意欲がもてるプラン作成に努めました。また、健康状態の維持・改善介護予防を図り、出来るだけ自立度の高い生活が出来るよう支援を行いました。
- 2.委託した場合には担当ケアマネジャーと連携し、担当者会議には出席してケアプランへの助言を行いました。
- 3.区役所・居宅事業所と連携を取りながら、必要なサービスを迅速に提供できるよう努めました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- 1.地域において、高齢者が健康を維持し、改善可能な場合は適切な支援を受けて改善に向かい、住み慣れた地域で暮らしながら生活の質を維持・向上させるため、高齢者一人一人が自分の健康増進や介護予防についての意識を持てるよう、情報提供を行いました。
- 2.高齢者が要介護状態になることをできる限り防ぎ、高齢者自身が地域において自立した日常生活を送れるよう「元気に介護予防」と題してロコモ予防体操、GoGo健康第1弾(ロコモ予防・栄養改善・口腔機能向上)、ハマトレ体操、理学療法士の先生による体力測定、GoGo健康第2弾(ロコモ予防・栄養改善・口腔機能向上)などの、介護予防の知識と技術が学べる事業を開催し、介護予防普及啓発を行いました。
- 3.ケアプラザから遠いところの南笹野台会館にて栄養講座(みな元気旭のオレンジ

会・南笹野台自治会・仙寿会と共催)、岸本自治会館にて、ツボ押し体験教室(弥生会・岸本自治会共催)を開催しました。

4.元気づくりステーション「ノルディックウォーキング」・「スクエアステップ」には定期的に顔出しを行い、広報活動や助言を行う等、後方支援に努めました。

5.みな元気旭!ステーションのオレンジ会・さくら会・笹野台昼食会・地域交流喫茶ジャンティに顔を出し、後方支援を行いました。

6. 横浜旭中央総合病院と共催して市民公開講座(下肢静脈瘤・急性心筋梗塞・心不全・不整脈)を開催し、疾患について医療知識や理解を深めることが出来ました。

7. 第3月曜クラブ(笹野台地区社会福祉協議会と共催事業)では、地域の方の閉じこもり予防を目的として、「初笑い!笹野台寄席劇場」を1月に実施しました。

5 その他

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- 1.指定管理者として、利用者に施設を快適・安全に利用していただくと共に、施設や設備の価値をできるかぎり維持できるよう、計画的かつ誠実に管理を行いました。運営法人として、5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）1U（美しい）の取組を推進し、職員一人ひとりが施設管理への意識を持つと共に、利用者の視点に立った設備の安全、快適な環境、性能性及び快適性に配慮しながら、きめ細かいメンテナンス対策を進めました。
- 2.施設（建築物、建築設備及び建築物の付帯設備）の管理については、施設の機能と耐久性を長期にわたって確保するために、施設点検手引き等に基づいて、清掃及び点検、運転・保守を行い、施設の状態を正しく把握するとともに、適切な維持管理保全を行いました。
- 3.建物の管理については、日常点検として巡視点検を行い、定期点検については、専門業者に委託して実施しました。点検結果等については、報告書等を作成しました。設備管理は、設備、機器自体の保全とともに、適正運転がなされることが重要であり、そのため、専門業者に委託し、各種点検・検査や測定・記録をしました。
- 4.施設・設備、機器の修繕については、区役所に報告するとともに、適切に対応しました。

(2) 効率的な運営への取組について

- 1.ケアプラザの労務・経理等の事務処理に関しては法人本部との役割を分担し、効率化を図りました。委託や備品購入に当たっては、法人割引等を活用し、経費の削減に努めました。
- 2.朝礼、各会議等で、職員一人ひとりのコスト意識の高揚を図りました。特に、電力の使用については、消灯、無駄な機器などの運転をしないこと等を徹底して行いました。毎日館内温度湿度を計測、朝礼で周知し、職員の意識づけを行いました。不要なものは購入しない、物は大切に使い、リデュース、リユース、リサイクル（3R）等を推進しました。
- 3.地域ケアプラザ4部門の連携と情報等の共有を図ると共に、職員会議等で効率的な取組について検討し、できるところから実施しました。
- 4.法人内所長会等では知恵を出し合うなど、効率的な運営の一助としました。

(3) 苦情受付体制について

- 1.ご利用者及び地域住民の方から、業務遂行上の苦情があった場合、内容は市役所・区役所に、書面をもって報告するとともに、真摯な態度で受け止め、誠意をもって対応する姿勢を、職員一人ひとりがもてるよう研修しました。
- 2.苦情対応の総括責任者を所長とし、各部門の管理者を、苦情受付・解決責任者として、館内に掲示するとともに心のこもった対応と速やかな解決に努めました。苦情等の内容は記録として残し、原因追求を図ることで、今後の苦情予防となるよう会議にて分析し、今後の対策を検討し対応しました。
- 3.地域ケアプラザの1階及び2階のフロアーに各1箇所ご意見箱を設置し、自由に記入していただくようにしました。また、ご意見を1か月掲示し所長がご意見に対して返信する体制としました。
- 4.運営法人として設置している、弁護士等を含む第三者委員会により、重要課題については連絡、相談し、適切な対応・解決に結びつけられるようにしました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- 1.火災・事故・地震・台風などの災害発生時には、結果回避義務(発生事の対応)に従い、すばやく初期対応を行い、マニュアルに基づき、全職員が利用者の安全確保を図れるようにしました。
- 2.貸館の利用については、災害時の避難誘導の手順、利用者へ火器使用の際の注意喚起、爆発物、危険物の持ち込み防止、使用後の清掃、電気・ガスの消し忘れ等の点検、チェックリストを利用した日常の巡視点検を行い、その後、職員による再チェックを行い、防災対策に取り組めました。
- 3.地域の防災訓練、防災講演会、その他地域行事に積極的に参加し、日頃から「顔の見える関係づくり」に努め有事に備えました。
- 4.災害時福祉避難場所となっているので、その役割を認識するとともに備蓄物資を適正に管理しました。福祉避難所開設を想定した訓練や研修も継続的に行いました。
- 5.防犯対策は、鍵の管理責任者は所長、開閉前後には点検表により、全館点検、戸締り等を徹底、夜間等は警備会社（機械警備）と連携し、事件・事故防止を図りました。また、警備会社の緊急通報システムを取り入れ緊急ボタンの設置、全職員の緊急時対応研修を行いました。
- 6.地域防災拠点、行政と協同し、福祉避難所訓練を行い、避難所としての必要事項確認と、マニュアル、様式整備を行いました。

(5) 事故防止への取組について

- 1.事故防止については、法人統一の事故防止マニュアルがあり、対応フロー、連絡体制、報告判断基準も明示しています。また、日常的に正確な動作を行うことを徹底すると共に、なすべき動作の欠落がないよう相互チェックを行う等、非常事態時に対応できる研修等を行いました。
- 2.各部署の会議等で、事故防止、感染症対策等の取組を行い、発生した事故を検証し、事故の減少に努めました。
- 3.サービス提供時に発生したヒヤリハットについては、職員会議等で検討会を開催し、事故防止に関する重要な情報として活用しました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- 1.個人情報の保護については、「個人情報の保護に関する法律」等の法令、厚生労働省のガイドライン、横浜市の「個人情報保護条例」を遵守しました。また、運営法人における「個人情報保護に関する規程」に従って、利用者の権利・利益を保護するために、個人情報の適切な取扱いに関し、必要な事項を「個人情報保護に関するマニュアル」に定め、職員に対し研修を実施しました。

「個人情報保護に関するマニュアル」概要

- ①「個人情報保護チェックリスト」を用いて、職員は年1回以上、セルフチェックを行う。
- ②個人情報を業務上必要な関係者以外には伝えない。
- ③個人情報を得るときは使用目的を明確に伝え、了解を得る。
- ④個人情報は業務上必要性がない者が閲覧等出来ないよう厳重に保管管理する（夜間等、不在時施錠、机上放置不可）。
- ⑤情報の伝達などに当たっては複数回のチェックを行い、個人情報の漏れやFAXの誤送信等がないように留意する。
- ⑥不要の持ち出しを禁ず。
- ⑦やむを得ず個人情報をFAX等する場合は、個人が特定できないよう、マスキング等の処置をする。

2.職員研修等

- ①職員を採用した時には「個人情報の保護に関する誓約書」を区に提出しました。

- ②採用時研修において、個人情報の保護について、必須科目として習得させました。配属後は、年1回以上職場研修を行いました。
- ③他事業所等の個人情報の漏洩事例については、職員会議(欠席者には事例回覧)等で周知すると共に、注意を喚起しました。

(7) 情報公開への取組について

- 1.横浜市の指定管理料等によって運営されている地域ケアプラザの事業は、広く住民に情報が開示されることを当然と受け止め、「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」に準じて、適正な対応に努めました。
地域ケアプラザで発行する、広報誌（毎月発行）等において、運営状況等を公開しました。
- 2.法人のホームページ等で、地域ケアプラザの事業の紹介などを行いました。
事業計画書、予算書等をカウンターに備え付け、閲覧に供しました。
情報ラウンジコーナーに事業計画書、予算書等を備え付け、閲覧に供しました。

(8) 人権啓発への取組について

- 1.館内へ人権啓発ポスターを掲示し、活動を周知しました。
- 2.第3期地域保健福祉計画の地区別計画への連携として、地域の方々と「障がいへの理解」の定期的な話し合いの場を持ちました。地域と協同してライトセンター研修を実施し、視力障害の理解を深めました。
- 3.地域のサロンで地域包括支援センターとサロンとの共催で認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の普及啓発を行いました。
- 4.人権研修を所内研修で行いました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

1.横浜市は、環境方針において、理念及び基本方針が出されています。公の施設である地域ケアプラザも、これに基づき取組みました。

横浜市のごみゼロ「ヨコハマ3R夢プラン」の理解と実践

①リデュース(Reduce)

ごみそのものを減らします。出来るだけ物は購入しない。特に、OA機器の普及に伴ってコピー用紙などが増える傾向がありますので、購入量をチェックするなど、紙の使用量の削減を図りました。

貸館の利用者等の部屋利用に当たっては、ごみの発生抑制をお願いしました。(例:使い捨ての割り箸や容器は使わない、館の箸や容器を使う)。

②リユース(Reuse)

購入する場合繰り返し使えるもの、不要紙の裏紙の利用等、小さなことでも徹底した取組によって、職員にゴミの減量化を意識づけました。

③リサイクル(Recycle)

物を最後に廃棄する場合、全職員に、手順書に基づいた分別の徹底を図りました。

2.電気・ガス等エネルギーの使用の削減

①節電対策として、不要な電灯は消灯、空調設備の運転は冷暖房の設定温度を夏季28度、冬季20度を目安に設定しての温度管理を行いました。

②服装等は、クールビズ、ウォームビズで対応しました。

③窓開けやサーキュレーター、空調ファン、ブラインド使用により冷暖房の効率化を図りました。

3.建物内外の整備

①5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)1U(美しい)運動を推進し、来訪者が気持ちよく活動できるように取り組みました。

②樹木や植栽の手入れ及び雑草刈等の環境整備を随時行いました。

③毎日職員による清掃を心がけ、館内がきれいに保たれるよう清掃を行いました。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

- ・ 保健師 1名
- ・ 主任介護支援専門員 1名
- ・ 社会福祉士 1名

《目標に対する成果等》

- ・ ご利用者の選択を第一とした関係事業者等との連携を図りながら、介護予防支援事業を推進しました。
- ・ 介護保険法等関係法令の遵守目標に対して介護事故等なく健全運営を行いました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域の高齢者ニーズ発掘を目的に、自治会館への出前講座を行った。民生委員児童委員協議会委員、自治会役員、老人クラブ役員等と連携しながら戸別訪問し、地域ケアプラザ作成リーフレットや、行政機関からの情報紙面を用いての制度の啓発に努めました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
134	137	134	131	129	129
10月	11月	12月	1月	2月	3月
133	141	139	141	137	139

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者 1 名常勤
- ・ 介護支援専門員 5 名常勤（管理者含む）

《目標に対する成果等》

① 居宅介護支援事業

- ・ 地域と連携をして、新規依頼の相談を積極的に行いました。
- ・ 利用者の心身の状況をふまえ、利用者や家族の意向に沿ったケアプランの作成に努めました。

② 介護予防支援事業

- ・ 地域包括支援センターと連携して、利用者の状況をふまえ、利用者や家族の意向に沿った適切なケアプランの作成に努めました。

③ 認定調査

- ・ 自治体の委託により、受託を行いました（年間 150 件）。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 今年度の実績はありませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ ご利用者の立場に立って本当に必要なサービスを提供しています。
- ・ 人間的なあたたかさを大切にしています。
- ・ 自分らしく生活できることを大切にしています。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
151	153	154	147	152	153
10月	11月	12月	1月	2月	3月
151	153	146	148	150	147

● 通所介護・認知症対応型通所介護 対象外

《提供するサービス内容》

-
-
-

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1） 円

（要介護2） 円

（要介護3） 円

（要介護4） 円

（要介護5） 円

● 食費負担 円

-
-

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ :

《職員体制》

《目標に対する成果等》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護 対象外

《提供するサービス内容》

-
-
-

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （事業対象者） 円
 - （要支援1） 円
 - （要支援2） 円
- 食費負担 円
-
-

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ :

《職員体制》

《目標に対する成果等》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

平成30年度「横浜市笹野台地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,236,208	0	17,236,208	16,805,892	430,316	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0	525,250	△ 525,250	
自主事業収入			0		0	
雑入	0		0	47,260	△ 47,260	
印刷代	0		0	37,360	△ 37,360	
自動販売機手数料			0	9,600	△ 9,600	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他 (指定管理料充当)	0		0	300	△ 300	
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)			0	0	0	
その他 (提案時控除 法人負担分)	191,709		191,709	191,709	0	太陽光発電控除
収入合計	17,427,917	0	17,427,917	17,570,111	△ 142,194	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,052,000	0	11,052,000	11,546,352	△ 494,352	
本俸	8,400,000		8,400,000	8,597,873	△ 197,873	
社会保険料	870,000		870,000	1,300,502	△ 430,502	
手当計	1,702,700		1,702,700	1,563,862	138,838	
健康診断費	4,300		4,300	4,219	81	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	75,000		75,000	79,896	△ 4,896	
その他	0		0	0	0	
事務費	1,141,855	0	1,141,855	1,590,036	△ 448,181	
旅費	25,000		25,000	19,596	5,404	交通費
消耗品費	160,000		160,000	258,019	△ 98,019	事務用品・清掃用品他
会議賄い費	0		0	5,333	△ 5,333	
印刷製本費	322,000		322,000	277,235	44,765	カウンター料金
通信費	500,000		500,000	613,040	△ 113,040	電話料金・携帯電話料金・郵送料
使用料及び賃借料	0	0	0	9,600	△ 9,600	
横浜市への支払分			0	9,600	△ 9,600	
その他			0	0	0	
備品購入費	0		0	107,028	△ 107,028	
図書購入費	0		0	37,651	△ 37,651	
施設賠償責任保険	11,240		11,240	17,277	△ 6,037	
職員等研修費	10,000		10,000	0	10,000	
振込手数料	1,000		1,000	432	568	
リース料	52,000		52,000	42,052	9,948	PC・マットレンタル料
手数料	1,000		1,000	0	1,000	
地域協力費	6,000		6,000	0	6,000	賀詞交換会会費
その他	53,615	0	53,615	202,773	△ 149,158	事業用ゴミ袋・収入印紙・電柱広告料・ピアノ調律
事業費	843,164	0	843,164	787,638	55,526	
運営協議会経費	42,000		42,000	6,714	35,286	
指定管理料充当 事業	801,164		801,164	780,924	20,240	
管理費	3,506,738	0	3,506,738	3,200,325	306,413	
建築物・建築設備点検	0	0	0	0	0	
光熱水費	1,160,510	0	1,160,510	1,157,573	2,937	
電気料金			0	600,780		
ガス料金			0	421,357		
水道料金			0	135,436		
清掃費	642,460		642,460	642,460	0	
修繕費	474,000	0	474,000	43,684	430,316	
機械警備費	97,265		97,265	101,585	△ 4,320	
設備保全費	1,132,503	0	1,132,503	1,136,769	△ 4,266	
空調衛生設備保守	420,933		420,933	420,933	0	
消防設備保守	85,320		85,320	85,320	0	
電気設備保守	440,252		440,252	440,252	0	
害虫駆除清掃保守	32,422		32,422	32,422	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	153,576		153,576	157,842	△ 4,266	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	118,254	△ 118,254	
公租公課	884,160	0	884,160	923,708	△ 39,548	
事業所税			0	0	0	
消費税	884,160		884,160	923,708	△ 39,548	
印紙税			0	0	0	
その他 ()			0	0	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	17,427,917	0	17,427,917	18,048,059	△ 620,142	
差引	0	0	0	△ 477,948	477,948	

自主事業費収入			0	525,250	△ 525,250	自主事業への参加料等
自主事業費支出			0	780,924	△ 780,924	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 255,674	255,674	

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	9,600	△ 9,600	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	9,600	△ 9,600	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「横浜市笹野台地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	22,389,000	0	22,389,000	22,148,612	240,388	横浜市より
指定管理料（介護予防）	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000	4,422,817	1,366,183	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当事業（包括）	0		0	45,750	△ 45,750	
指定管理料充当事業（介護予防）	0		0	0	0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0		0	0	0	
自主事業収入			0		0	
雑入	700,171	0	700,171	34,600	665,571	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	9,600	△ 9,600	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他（指定管理充充分）	700,171		700,171	25,000	675,171	
その他（提案時控除 法人負担分）			0	0	0	
収入合計	29,029,171	0	29,029,171	26,802,779	2,226,392	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,765,000	0	25,765,000	22,152,368	3,612,632	
本俸	13,948,800		13,948,800	13,226,508	722,292	
社会保険料	3,472,000		3,472,000	2,988,480	483,520	
手当計	7,902,400		7,902,400	5,566,114	2,336,286	
健康診断費	3,500		3,500	12,328	△ 8,828	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	393,600		393,600	358,938	34,662	
その他	44,700		44,700	0	44,700	
事務費	1,134,000	0	1,134,000	688,383	445,617	
旅費	100,000		100,000	54,238	45,762	交通費・ガソリン代
消耗品費	250,000		250,000	99,858	150,142	事務用品・清掃用品他
会議賄い費	10,000		10,000	2,774	7,226	
印刷製本費	90,000		90,000	73,695	16,305	カウンター料金
通信費	300,000		300,000	202,519	97,481	電話料金・携帯電話料金・郵送料
使用料及び賃借料	0	0	0	9,600	△ 9,600	
横浜市への支払分	0		0	9,600	△ 9,600	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	50,000		50,000	84,084	△ 34,084	
図書購入費	10,000		10,000	0	10,000	
施設賠償責任保険	3,000		3,000	4,593	△ 1,593	
職員等研修費	70,000		70,000	0	70,000	
振込手数料	1,000		1,000	0	1,000	
リース料	14,000		14,000	7,729	6,271	PC・マットレンタル料
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	2,000		2,000	0	2,000	賀詞交換会会費
その他	234,000	0	234,000	149,293	84,707	事業用ゴミ袋・自動車保険・電柱広告料・印紙
事業費	1,198,000	0	1,198,000	764,677	433,323	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	
指定管理料充当事業（包括）	108,000		108,000	70,979	37,021	
指定管理料充当事業（介護予防）	151,000		151,000	151,003	△ 3	
指定管理料充当事業（生活支援）	309,000		309,000	38,695	270,305	
管理費	932,171	0	932,171	853,887	78,284	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	
光熱水費	348,138	0	348,138	307,709	40,429	
電気料金			0	159,701		
ガス料金			0	112,006		
水道料金			0	36,002		
清掃費	170,781		170,781	170,780	1	
修繕費	126,000		126,000	11,612	114,388	
機械警備費	28,247		28,247	30,175	△ 1,928	
設備保全費	259,005	0	259,005	302,177	△ 43,172	
空調衛生設備保守	69,854		69,854	111,893	△ 42,039	
消防設備保守	22,680		22,680	22,680	0	
電気設備保守	117,029		117,029	117,028	1	
害虫駆除清掃保守	8,618		8,618	8,618	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	40,824		40,824	41,958	△ 1,134	
共益費			0	0	0	
その他			0	31,434	△ 31,434	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他（ ）			0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ズ対応費			0	0	0	
支出合計	29,029,171	0	29,029,171	24,459,315	4,569,856	
差引	0	0	0	2,343,464	△ 2,343,464	

自主事業費収入	0		0	45,750	△ 45,750	自主事業への参加料等
自主事業費支出	0		0	260,677	△ 260,677	自主事業経費
自主事業収支	0		0	△ 214,927	214,927	

管理許可・目的外使用許可収入			0	9,600	△ 9,600	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出			0	9,600	△ 9,600	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市笹野台地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
元気に介護予防 「認知症予防・ロコモ体 操」	高齢者	6780	地活	0	0	5000	280	1500	
	27		包括						6780
	0		介護						
			生活						
元気に介護予防 「GoGo健康第1弾」	高齢者	33882	地活			26000	3882	4000	
	75		包括						33882
	0		介護						
			生活						
市民公開講座	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	
	76		包括						0
	0		介護						
			生活						
みんなの家金が谷 認知症サポーター 養成講座	地域	0	地活	0	0	0	0	0	
	12		包括						0
	0		介護						
			生活						
これからに備える講座	高齢者	8000	地活	0	0	8000	0	0	
	52		包括						8000
	0		介護						
			生活						
介護者の集い	地域	0	地活	0	0	0	0	0	
	43		包括						0
	0		介護						
			生活						
ささえ愛ふじみ 認知症サポーター養成 講座	地域	0	地活	0	0	0	0	0	
	23		包括						0
	0		介護						
			生活						
認知症サポーター養成 講座&映画上映会	地域	0	地活	0	0	0	0	0	
	13		包括						0
	0		介護						
			生活						
中学生向け認知症サ ポーター養成講座	子ども	0	地活	0	0	0	0	0	
	10		包括						0
	0		介護						
			生活						
元気に介護予防 「GoGo健康第2弾」	高齢者	54722	地活	0	0	41000	6222	7500	
	118		包括						54722
	0		介護						
			生活						
元気に介護予防 「理学療法士の先生が 行う体力測定」	高齢者	24280	地活	0	0	24000	280	0	
	15		包括						24280
	0		介護						
			生活						
介護予防出前講座 「おいしく食べて健康寿 命を延ばそう」	高齢者	8280	地活	0	0	8000	280	0	
	25		包括						8280
	0		介護						
			生活						

平成30年度 自主事業収支報告書

地域交流喫茶シャントイ エンディングノート活用ミ ニ講座	高齢者	0	地活		0	0	0	0	0					
	17		包括	0										
	0		介護											
			生活											
介護予防出前講座 「ツボ押し体験教室」	高齢者	279	地活		0	0	0	279	0					
	17		包括	279										
	0		介護											
			生活											
地域育成支援「ハマトレ 体操」	高齢者	22780	地活		0	0	15000	280	7500					
	61		包括	22780										
	0		介護											
			生活											
脳育体操 地域・包括共催	高齢者	101195	地活	4848	45750	0	50000	598	0					
	348		包括	4847						45750	0	50000	597	0
	300		介護											
	1~2月(講師料なし)		生活											
調理室大掃除	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0					
	8		包括											
	0		介護											
			生活											
庭師集団「ニワッシ」	地域	7516	地活	7516	0	0	0	4173	3343					
	50		包括											
	0		介護											
			生活											
ズンバ ゴールド	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0					
	90		包括											
	0		介護											
			生活											
星空ガイド	地域	21763	地活	13763	8000	0	20043	1507	213					
	80		包括											
	100		介護											
			生活											
七夕飾り	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0					
	132		包括											
	0		介護											
			生活											
雑巾縫ったらボランティア	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0					
	28		包括											
	0		介護											
			生活											
ヒップホップダンス	子ども	50000	地活	11600	38400	0	50000	0	0					
	128		包括											
	300		介護											
	8月3日サロン講師料(2,000円を含む)		生活											
合同歌声喫茶・ 2018	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0					
	449		包括											
	0		介護											
	500円(会計はオアシス)		生活											
フリールーム	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0					
	105		包括											
	0		介護											
			生活											
ティータイム コンサート	地域	24408	地活	16608	7800	0	0	2593	21815					
	126		包括											
	12月参加費(キー代) 100×78		介護											
	6月無料		生活											

平成30年度 自主事業収支報告書

笹野台歌声喫茶 「ひろば」	地域	112029	地活	679	97400	13950	93324	18705	0
			包括						
	974		介護						
	100		生活						
ほのほの体操	高齢者	178000	地活	43600	134400	0	178000	0	0
			包括						
	448		介護						
	300		生活						
脳と体のトレーニング体操	高齢者	100000	地活	33400	66600	0	100000	0	0
			包括						
	666		介護						
	100		生活						
サロン「お茶べり会」	地域	25850	地活	25850	0	0	18824	4384	2642
			包括						
	572		介護						
	100		生活						
	会計は地区社協								
ささえ愛ふじみ	地域	0	地活		0	0	0	0	0
			包括						
	240		介護						
	0		生活	0					
公園あそび	子ども	0	地活	0	0	0	0	0	0
			包括						
	137		介護						
	0		生活						
キッズダンス	キッズ・ダンス	33330	地活	12030	21300	0	33330	0	0
			包括						
	71		介護						
	300		生活						
ベビーマッサージ	子ども	11632	地活	2532	9100	0	10023	1609	0
			包括						
	13組(26人)		介護						
	700		生活						
障がい児お出かけサ ポート講習会	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
			包括						
	9		介護						
	0		生活						
血管元気講座	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
			包括						
	22		介護						
	0		生活						
カトラリーケース作り	地域	3000	地活	0	3000	0	3000	0	0
			包括						
	10		介護						
	300		生活						
ケアブラ寺子屋	子ども	36830	地活	14530	22300	0	25000	7515	4315
			包括						
	116		介護						
	講座により参加費は異なる		生活						
旭ふれあい区民祭り 行政・PRコーナー出展 事業	地域	345	地活	345	0	0	0	345	0
			包括						
	450		介護						
	0		生活						
親子de英語	子ども	9864	地活	2664	7200	0	9000	864	0
			包括						
	36		介護						
	200		生活						

平成30年度 自主事業収支報告書

5CP合同「ふれあいウォーク」	地域	5956	地活	3996	0	0	0	3996	0
	15		包括						
	0		介護						
			生活	1960					
音楽フェスタ	地域	6682	地活	6682	0	0	6682	0	0
	67		包括						
	0		介護						
			生活						
大掃除	地域	7909	地活	7909	0	0	0	7909	0
	54		包括						
	0		介護						
			生活						
ケアブラザってなーに？	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	40		包括						
	0		介護						
			生活						
走り方教室	子ども	15000	地活	1500	13500	0	15000	0	0
	27		包括						
	500		介護						
			生活						
親子で遊ぼうリトミック	子ども	9000	地活	4200	4800	0	9000	0	0
	16組(32人)		包括						
	1組300円		介護						
			生活						
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	17		包括						
	0		介護						
			生活						
こどもの書初め	子ども	3880	地活	2680	1200	0	3000	880	0
	6		包括						
	200		介護						
			生活						
ライトセンター施設見学	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	21		包括						
	0		介護						
			生活						
福祉教育 手話サークル ささの手	子ども	0	地活	0	0	0	0	0	0
	124		包括						
	0		介護						
			生活						
福祉教育 五禽戯	子ども	0	地活	0	0	0	0	0	0
	39		包括						
	0		介護						
			生活						
福祉教育 施設見学とケアブラザってなーに?!	子ども	0	地活	0	0	0	0	0	0
	32		包括						
	0		介護						
			生活						
福祉教育 ポッチャ体験	子ども	0	地活	0	0	0	0	0	0
	32		包括						
	0		介護						
			生活						
第3月曜クラブ 初笑い笹野台寄席劇場	高齢者	6000	地活		0	0	6000	0	0
	37		包括	6000					
	0		介護						
			生活						

平成30年度 自主事業収支報告書

親子でクリスマス コンサート	未就学児・小学生・保護者	4592	地活	2992	1600	0	3592	0	1000
	8組(16人)		包括						
	親子で200円		介護						
			生活						
登録団体交流会	地域	10838	地活	10838	0	0	0	10838	0
	35		包括						
	0		介護						
			生活						
笹ヶア文化祭～趣味探 訪展～	地域	58024	地活	29074	0	28950	4000	54024	0
	378		包括						
	0		介護						
			生活						

平成30年度 自主事業報告書

横浜市笹野台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
元気に介護予防 「認知症予防・ ロコモ体操」	認知症予防について普及し、今後の包括の介護予防講座を周知する。 元気なうちから介護予防に取り組む必要性や、介護予防の具体的な取組について説明を行う。また、自宅でも行える脳トレ体操、ロコモ予防体操を行う。	平成30年4月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気に介護予防 「GoGo健康第1 弾」	①介護予防の基礎知識を学び、介護予防サークル活動の足掛かりとする。 ②事業対象者等に声をかけ、セルフケア能力を向上させ、ロコトレで効果を実感する。 ロコモ予防、口腔機能向上、低栄養予防の基礎知識を学ぶことに合わせて、ロコトレを毎回実施する。	平成30年5月、6 月、7月 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
市民公開講座	地域の皆様が身近な疾患について理解を深め、健康管理に役立ていただく事で、介護予防につなげる。 横浜市旭中央病院の循環器内科・リウマチ内科の医師を講師に招き、下肢静脈瘤・骨粗鬆症・不整脈・心不全について講義をしていただき、質問コーナーを設け、それぞれの疾患を理解する。	平成30年5月、10 月、11月、12月 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなの家金が 谷認知症サポ ーター養成講座	地域住民向けに認知症サポーター養成講座を実施する。 グループホーム「みんなの家金が谷」を会場に実施することで、施設職員も参加し、専門職の強みを生かしながら、地域の認知症支援に携わる意識を醸成する。	平成30年4月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
これからに備え る講座	高齢になって生じる心配ごと・困りごとに備え、元気なうちから準備できることを知っていただく機会を提供する。 「高齢者の住まい」「消費者被害の防止」「任意後見・遺言・相続」をテーマに講座を実施する。『旭区版エンディングノート』も絡め、エンディングノートの普及啓発を行う。	平成30年6月、 10月、12月 計3回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者の集い	介護者が元気に介護を継続するための支援として、介護者が集まって「介護の苦労や悩みを分かち合う」「介護に必要な情報を得る」ための、定期的なコミュニケーションの場を提供する。 毎月第4水曜日午後13時に介護者・介護経験者を対象に茶話会・介護に役立つ情報提供・講座等を実施する。 奇数月：笹野台地域ケアプラザで実施 偶数月：、小規模多機能居宅介護事業所アルメリアで実施。 ケアプラザから距離のある介護者も参加しやすいよう、会場を2箇所とし、身近な地域で参加できる機会を設ける。	平成30年度 通年 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ささえ愛ふじみ 認知症サポーター養成講座	地域で認知症の方を見守り支えるために、地域住民が認知症を正しく理解する機会を作る。地域サロンで認知症サポーター養成講座を実施する。 クイズや寸劇を含めた、楽しく理解しやすい内容で実施する。	平成30年9月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座& 映画上映会	地域で認知症の方を見守り支えるために、地域住民が認知症を正しく理解する機会を作る。 認知症サポーター養成講座の講義を実施。併せて短編映画『認知症と向き合う』（川崎幸クリニック院長 杉山孝博先生監修）を上映する。	平成30年9月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
中学生向け認知症サポーター養成講座	子ども達に認知症を正しく理解してもらい、認知症の人や家族を温かく見守る応援者となってもらおう。 認知症サポーター養成講座の中学生向け教材をベースに講座を実施。紙芝居、認知症の人の気持を体験する学習素材を取り入れて、認知症についての正しい知識や接し方、思いやりを学ぶ。	平成30年11月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
元気に介護予防「GoGo健康第2弾」	①介護予防の基礎知識を学び、介護予防サークル活動の足掛かりとする。 ②事業対象者等に声をかけ、セルフケア能力を向上させ、ハマトレで効果を実感する。 ロコモ予防、口腔機能向上、低栄養予防の基礎知識を学ぶことと併せて、ハマトレを毎回実施する。	平成30年11月、12月 平成31年1月、2月、3月 (2回) 6回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気に介護予防 「理学療法士の先生が行う体力測定」	自分の体力を知り、介護予防の必要性を理解する。 ①体力測定 ②結果説明 ③自宅で出来る介護予防体操 ④質問コーナー	平成30年10月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防出前講座 「おいしく食べて健康寿命を延ばそう」	介護予防とは運動と考えがちな高齢者に、食生活の大切さを理解してもらう。 ①低栄養とは ②上手なたんぱく質の取り方 ③補助食品の取り方 ④質問コーナー	平成30年11月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域交流喫茶 シャンティ エンディング ノート活用ミニ 講座	H28年度旭区にて作成した『旭区版エンディングノート』の普及・活用を啓発する。自身の最後をどのように迎えたいか、希望や大切にしたいことを、元気なうちに考える重要性に気付いていただき、これからの生活を安心して過ごす、家族とのコミュニケーションを図るきっかけとしていただく。 旭区版エンディングノートの内容について、ノートの目的、記入項目の意図や目的、記入の注意点を中心に説明。	平成31年2月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防出前講座 「ツボ押し体験教室」	年齢を重ねることで、腰痛・膝痛・冷えなどの症状が出てくる。自分で症状を軽減できるツボ押しを学びセルフケアが出来るようにする。 肩こり・腰痛・膝痛・冷え・浮腫みなどについて参加者同士と一緒にツボの場所を捜す。参加者がお互いに押し合い、自分が参加しているサークル・サロンなどでもツボ押しが出来るようにする。	平成30年11月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域育成支援 「ハマトレ体操」	継続している活動グループのプログラムの質を向上させ、グループ活動の意味・必要性を再確認し、活動の活性化を促す。 介護予防の大切さ、仲間で活動する意味・運営方法や活動内容などの情報交換を行う。	平成30年8月、9月、10月 3回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
脳育体操	<p>身体だけではなく、脳にも健康になってもらい脳を活性化。 モーツァルトの音楽を聴きながら、脳のための体操を行う。 午後枠の体操事業で初心者向け。</p>	<p>平成30年度 通年 計24回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
調理室大掃除	<p>シニアボランティアポイント対象事業 調理室の大掃除を行っていただくことで、調理室を清潔に保つ手伝いを行っていただく。 同じ作業を行い、交流を図る。 日頃当館を使用している皆様に調理室の大掃除を行っていただく。 調理室の清掃 床・ガスレンジ・五徳・換気フード・流し台・食器・冷蔵庫・まな板・スリッパの洗浄等。</p>	<p>平成30年6月 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
庭師集団「ニワッシ」	<p>「よこはまシニアボランティアポイント登録研修会」研修後の活動場所とする。 シニアボランティアの活動事業。第2火曜日午前中に実施。 ケアプラザ外回りの雑草取り、年に2回（4月・10月）は作業後に懇親会を行う。 メンバーのご意見を伺い、尊重し主体性を大切にしながら活動をする。</p>	<p>平成30年度 通年 計8回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ズンバ ゴールド	<p>地域の健康維持のため、老若男女を問わず、フィットネス初心者、シニア、身体的ハンデのある方でも楽しめるマイルドにアレンジした、新しい形のズンバ（リズム健康体操）を実施。ラテン系音楽に合わせて楽しく身体を動かす。 体力向上や脂肪燃焼効果で子育て世代の主観的健康感が薄い、または運動習慣のない層や新しいことにチャレンジしたいシニアの方向けにストレッチ、リズムに合わせて体操を行う。</p>	<p>平成30年6月、12 月、2月 3回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
星空ガイド	<p>なかなか利用の少ない小・中学生を対象に地域の同年代との交流をはかる。 プラネタリウムで説明後、実際に講義を受け、天体望遠鏡で見て、天体を身近に感じ、興味をもってもらおう。 家庭用プラネタリウムを用いた星空の説明。 各種の天体やその頃見える天文現象を紹介。 天文現象の原因などをこどもにもわかりやすく説明。 小型天体望遠鏡を用いて月や惑星などを観望(高校生ボランティアを含む)。</p>	<p>平成30年5月、8 月、10月 3回</p>

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
七夕飾り	<p>日本古来から伝わる七夕行事を再確認し、日本の伝統文化の良さを知ってもらい、笹野台地域ケアプラザの季節を感じる行事として、定着させる。</p> <p>年齢を問わずケアプラザに足を運んでいただくきっかけづくりとする。</p> <p>色とりどりの短冊、ペンを用意して、来館者に願い事を書いてもらい、笹の葉に吊るして飾る。</p>	平成30年6～7月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
雑巾縫ったらボランティア	<p>ボランティアが体力的に難しい方や忙しい方も登録団体の福祉保健活動に含めることにより、個々がサークル活動に貢献出来るようにする。</p> <p>企画を広報誌やチラシで案内してから受付期間にケアプラザに届けてもらう。</p> <p>ボランティアに協力する気持ちはあるが、体力や体調のことを考えるとなかなか出来ないという高齢者の方や、子育て中なのでケアプラザにボランティアの為に来るのは難しい方に雑巾5枚でボランティアバッチを進呈。企画を広報誌やチラシで案内してから受付期間にケアプラザに届けてもらう。</p>	平成30年4月～12月 23回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ヒップホップダンス	<p>全身運動でストレスを発散させる。</p> <p>同世代（年少～年長）で行動を共にし交流を図る。</p> <p>ケアプラザを子供も気軽に来ることのできる場として認知していただく。</p> <p>親の情報交換の場としてもらう。</p> <p>音楽に合わせて、ヒップホップダンスを行う。</p> <p>イベントでダンスを披露する。</p>	平成30年5月～11月 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
合同歌声喫茶・2018	<p>歌好きな方が集まって仲間作りや健康作り。</p> <p>また、外出の機会を作ることで引きこもり予防。</p> <p>5月開所の二俣川地域ケアプラザも含めた区内全ケアプラザの周知。</p> <p>区内ケアプラザとボランティア団体・歌声喫茶オアシスと実行委員会形式で運営。</p>	平成30年5月 1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
フリールーム	<p>気軽にケアプラザに来所し、さまざまな世代が交流することで、日頃交流出来ない方々に繋がりを持っていただく。新しい地域のつながりを図る。子どもが放課後を過ごす場として、また地域の高齢者との触れ合いの場として活用いただく。午後の貸館率をあげる。</p> <p>毎月3回（月曜日：午後1時～5時）開催。広報誌、館内・外の掲示板で宣伝。</p> <p>将棋・囲碁・談話の場として活用してもらう。子どもには宿題等をする場としてもらう。</p> <p>利用者は初回に登録し、登録カードを受付で預け、名前と入退出の時間を受付簿に記入。</p> <p>時間内は出入り自由。</p>	<p>平成30年4月～ 平成31年3月 36回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ティータイム コンサート	<p>コンサートに行きたいが遠出の出来ない方、障がいを持っていることで外に出るきっかけの少ない方、未就園児や児童、学生に生演奏を体感出来る等の機会を作る。</p> <p>会場整備、お茶とお菓子の受け渡し等で、ボランティアの活動の場にする。</p> <p>多世代交流や、障がいの方との交流、未就園児を抱えた親の交流を図る。土・日・祝日に開催することで、当館の運営時間帯を知っていただき、貸館へ繋げる。</p> <p>来館者に生演奏を楽しんでいただく。</p> <p>前半はギターのレクチャー&コンサートでギターの種類の解説と演奏。</p> <p>休憩を挟んで、後半は三味線と二個のアンサンブルを楽しんでいただく。</p> <p>演奏者・会場準備もボランティアに協力してもらう。</p>	<p>平成30年6～12月 2回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
笹野台歌声喫茶 「ひろば」	<p>青春時代を思い出していただく。歌う事により、口腔ケア、腹筋運動、肺機能の運動になり、心と身体のリフレッシュをする。</p> <p>アコーディオンに合わせて、童謡、歌謡曲等の20曲ほど歌う。途中休憩を挟み、水分補給、リクエストカードの記入。</p>	<p>平成30年度 通年 計12回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほのぼの体操	<p>身体を動かす機会の少ない高齢者の方や体力的に自信がない方に参加いただき、レクリエーションを取入れ、楽しく身体をほぐしていただく。健康の維持と同年代の方々との交流を図る。</p> <p>9：45～ 血圧測定</p> <p>10：00～11：00 体操 （ギムクボール、セラバンドと2つの手具を使い普段使っていない筋肉をほぐし無理なく体を動かす。）</p> <p>11：00～レクリエーション・口腔ケア体操</p>	<p>平成30年度 通年 計24回</p>

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
脳と体のトレーニング体操	<p>脳のための体操を行うことにより、身体だけではなく、脳にも健康になってもらう。</p> <p>同世代と交流を行うことにより、外へ出掛ける楽しさを感じてもらう。</p> <p>モーツァルトの音楽を聴きながら、脳を活性化させる体操を行う。</p>	平成30年度 通年20回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サロン「お茶べり会」	<p>自宅に閉じこもりがちな高齢者の方に外に足を向けていただく。同年代の方々との交流を楽しんでいただく。趣味活動を通して自分の得意を引き出してもらう。</p> <p>お茶・お菓子をいただきながら、皆でおしゃべりを楽しむ。毎回、30分～1時間ほどのイベントを盛り込む。</p> <p>〈役割分担〉</p> <p>広報・参加者名簿作成はケアプラザ 会計管理は地区社協 イベントで材料が必要な場合の材料手配は、ケアプラザが支援 講師謝礼、ボランティアお礼はケアプラザが支援 参加者より、参加費を徴収 会場準備、片付けなどは協働</p>	平成30年度 通年 計11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ささえ愛ふじみ	<p>ケアプラザまで出かけられない地域の方に見守り・介護予防・社会参加の場となるような取組を促す。</p> <p>月替わりで地域住民が楽しめるプログラムを取り入れた内容を企画し、地域に密着した事業とする。</p>	平成30年度 通年 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
公園あそび	<p>外遊びの大切さを伝え、同年代の子どもの交流、親の交流の場づくり、地域のボランティアの方の活動の場づくり(ボランティアの育成)とし、いずれは地域の活動につなげる。</p> <p>公園に集まり、親子、地域ボランティア、民生委員、スタッフと一緒に遊ぶ。</p>	平成30年度 通年 計11回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
キッズダンス	<p>全身運動でストレスを発散させる。同世代で行動を共にし、交流を図る。ケアプラザを子供も気軽に來ることのできる場として、認知してもらう。</p> <p>26年度自主事業からサークル化となった「ステップ・スターズ☆☆」のメンバー減少により、サークルからケアプラザへ後方支援依頼があったため、メンバー増員とサークル存続に向け手伝い。</p> <p>音楽に合わせて、ヒップホップダンスを行う。</p> <p>イベントでダンスを披露する。</p>	平成30年5月～7月 6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ベビーマッサージ	<p>親子のふれ合いと、情報交換、お友達作りの場、孤立親子を減らす。</p> <p>ベビーマッサージを通して、リラックスした雰囲気できゅ〜くと親子で向き合う楽しい時間を過ごしていただく。</p> <p>アロマオイルでベビーマッサージを行う。話しかけたり、わらべ歌をうたいながらマッサージをしてスキンシップをとる。</p> <p>保護者向けにハンドマッサージの時間も取り入れ、育児中のお母様方にリフレッシュしていただく。</p>	平成30年8月～9月 3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
障がい児お出かけサポート講習会	<p>地域の方に障がいについて理解を深めてもらう。</p> <p>障がいの特性、様々な障がいについて気軽に学び子供のために何かしたい方にはガイドボランティア制度をご紹介します。</p> <p>講義(三ツ境養護学校教員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知的障がい、発達障がいの特性について ・障がい者とのコミュニケーションのとり方や関わり方など <p>ガイドボランティア体験談 発達障がい疑似体験 ガイドボランティア制度について</p>	平成30年8月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
血管元気講座	<p>稔の世代向け講習会。</p> <p>食、運動、社会参加の3つをキーワードに、未病改善に取り組み、心身をより健康な状態に近づけていくための講座。</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・握力測定 ・ヘルスメイト体操 ・食事 ・フレイル(スライドで解説)、栄養士からお話しとまとめ 	平成30年7月 1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カトラリーケース作り	主に高次脳機能障がいの方のための働く場「工房アリアル」の自立した生活を目指している方を講師としてお迎えし、参加者が障がいへの理解を深めるとともに交流のきっかけとする。 ・カトラリーケース(フォーク・スプーン入れ)作り。 ・一人一人に工房アリアルで脳卒中、脳外傷によって障がいを受けた方が講師として付き添う。 ・作品を2時間で完成させながら、講師と会話を楽しむ。 (交流の場を提供)	平成30年8月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラ寺子屋	小学生対象事業。 寺子屋風にして各登録団体が講師となり参加する。 得意分野を活かし、子ども達に伝える。 ジュニアボランティアのブースを設け、活動の場とする。 講座の一つに「認知症サポート養成講座」を開催。子ども達に認知症を正しく理解してもらい、認知症の人や家族を温かく見守る応援者となってもらおう。 学ぼう認知症で紙芝居・クイズ・簡単なコグニサイズを取入れて、小学生向けのテキストを使用し楽しく学ぶ。 登録団体の方々の協力で編み物、水墨画、囲碁、将棋、3B体操、俳句、太極拳の講座を開催。 パステルアートの部屋ではジュニアボランティアが小学生に教える。 会場では福祉保健活動の一環として登録団体が受付などのボランティアを担当。	平成30年7月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旭ふれあい区民祭り 行政・PRコーナー出展事業	来場しているお客様に地域ケアプラザ及び地域福祉保健計画を知る機会を作る。 ①地福計画の推進 ・子どもの居場所、多世代交流、子育てサロンの3つにテーマを設定し、各ケアプラザ圏域の取組を1つずつパネルで紹介 ・パネル掲示した活動についてのご意見募集と啓発物配布 ②CP機能周知 ・子育て世代を中心とした多世代交流プログラムの実施(わなげ) ・関連ブース(旭区福祉保健課事業企画担当及び旭区内地域ケアプラザ、旭区地域子育て支援拠点「ひなたぼっこ」、主任児童委員連絡会)連携による、ワードラリー ・「ひなたぼっこ」ブースで、各ケアプラザで実施予定の子育て支援事業一覧の配布	平成30年10月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子de英語	問い合わせをいただいた子供向け英会話の要素を取り入れた企画。同世代の子どもと遊べる機会を作る。英語のリズムに合わせて身体を動かしたり、親子で楽しい時間を過ごしてもらおう。 音楽に合わせて、英語の歌を歌ったり、簡単なゲームの実施。パラバルーン、工作、絵本読み聞かせなど。	平成30年10月 3回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
5 CP合同「ふれあいウォーク」	各CP共催事業で、地域・区域を越えたCP間の交流の促進と拡大。 ウォーキングで健康づくりをし、高齢者の引きこもり防止と仲間作りの場の提供。 旭区推奨ウォーキングフレンズにちなみ、各CP生活支援Coと共催し、ウォーキング事業を進める。 ストレッチ後に途中3回の休憩をはさみ、区域を越えて交流しながら歩く。 山手駅～本牧山頂公園～本牧神社～三溪園 本牧神社でお参り後、神主よりお馬流しの説明を受ける。 現地集合、現地解散。	平成30年10月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
音楽フェスタ	多世代交流や、障がいの方との交流を図る。 前半には横浜市立盲特別支援学校に通うシンガーソングライターを迎え、点字ブロックの説明をするなど、福祉的要素を含むコンサート。 前半と後半の2部制 違うジャンルの音楽の組み合わせで地域の方に楽しんでいただく。	平成30年10月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大掃除	日頃当館を利用している登録団体の皆様とシニアポイント登録者に、募集を募る。 大掃除していただくことで、館内を清潔に保つ手伝いをしていただく。 他のサークルの方々と同じ作業を行うことで、交流を図る。 当館が福祉を重んじる施設であり、サークル活動もその一環であることへの理解を深めてもらう。 館内・調理室・外回りの大掃除。	平成30年12月 3回

事業名	目的・内容	v
ケアプラザってなに？	ケアプラザは誰もが住み慣れたまちで健康で安心して暮らせる地域をつくるための身近な公的施設であるが、現状ではあまり認知されていない。 福祉保健の窓口、介護予防、高齢者の生活支援体制整備、居宅支援、地域の福祉保健活動の拠点ということを地域の方に分かりやすい言葉で説明する。 普段のケアプラザの業務を寸劇で再現 職員それぞれの立場で業務説明	平成30年11月 1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
走り方教室	<p>走り方等の運動を通じて、体を動かす楽しさに触れてもらう。運動=健康について学ぶことで、心身への大切さを考えてもらう。</p> <p>正しいフォームを学び、タイムを縮める。 苦手なものを克服する力を身につける。</p> <p>走り方等の運動を通じて、体を動かす楽しさに触れてもらう。運動=健康について学ぶことで、心身への大切さを考えてもらう。</p> <p>正しいフォームを学び、タイムを縮める。 苦手なものを克服する力を身につける。</p>	平成31年 3月 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子で遊ぼうリトミック	<p>広い部屋でピアノに合わせて思いっきり動きまわり、親子で体を動かす。また、ケアプラザを知ってもらうきっかけにする。新しい友達、仲間づくりの場所として活用してもらい、ケアプラザで開かれる行事について案内する。</p> <p>ピアノの演奏に合わせて親子で一緒に歌い踊り、体を動かしてスキンシップを図り、絆をより深める。</p> <p>同世代の子供を持つ保護者の情報交換の場として活用してもらう。（親子16組32名）</p>	平成31年1月、2月 3月 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	<p>登録者ご本人の健康維持と介護予防、社会参加、地域貢献を通じた「生きがいつくり」を促進すると共にこれからの介護施設等の地域との繋がりや、施設利用者の生活をより豊かにすることを促進することを目的とする。</p> <p>①よこはまシニアボランティアポイントの概要について(約20分) 五禽戯石村先生の体操(5分) ②ボランティアとは”基礎知識</p>	平成31年2月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こどもの書初め	<p>書初めを通じて、季節の行事に触れる。</p> <p>書初めを通じての、礼儀作法を学ぶ。</p> <p>ケアプラザで行われている活動を知ってもらう。</p> <p>ケアプラザが子供も気軽に来所出来る場であることを知ってもらう。</p> <p>講師を招いて、書初めを行う。</p> <p>字は、各々書きたい字で行う。</p>	平成31年1月 1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ライトセンター 施設見学	<p>笹野台連合自治会・笹野台地区社会福祉協議会が主催の企画。ケアプラザは第3期地域福祉保健計画の地区の目標「障がい者への対応の準備」の取り組みを行えるように支援。施設見学の協力をする。</p> <p>地域福祉計画の促進を図る。</p> <p>障害のある人もない人も、誰もが安心して暮らすことが出来る地域を目指し、障害と障害のある人への理解促進に取り組む。視覚障害のある人にどのような配慮が必要なのか講話や体験を通して学ぶ。</p>	平成31年2月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉教育 手話サークル ささの手	<p>手話の魅力に触れ、身近に感じてもらう。</p> <p>人間は対等であることを感じてもらう。</p> <p>ケアプラザ手話サークル「ささの手」が協力。</p> <p>日常会話の手話を学ぶ。</p> <p>手話で歌ってみよう。</p> <p>《講話》1.手話について2.ろう者とは</p> <p>《体験》・指文字・自分の名前を言ってみよう。</p> <p>・手話で数字の表し方を覚える。手話歌をみんなで練習し、歌う。</p>	平成31年1月・2月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉教育 五禽戯	<p>地域の方との交流を目的に小学生が動物気功体操を学ぶ。</p> <p>ケアプラザ手話サークル「ごきんぎの会」が協力。</p> <p>5つの野生動物の動作をまねて、全身を使い楽しく動かす。</p> <p>気功を取入れリラックスする。</p>	平成31年2月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉教育 施設見学とケア プラザってなに？！	<p>ケアプラザは誰もが住み慣れたまちで健康で安心して暮らせる地域をつくるための身近な公的施設であるが、現状ではあまり認知されていない。</p> <p>福祉保健の窓口、介護予防、高齢者の生活支援体制整備、居宅支援、地域の福祉保健活動の拠点ということを小学生に分かりやすい言葉で説明。</p> <p>館内の子育て支援者会場やシニアサークルを見学し、ケアプラザが赤ちゃんからお年寄りまで誰でも使える場所だと体験してもらう。</p> <p>(施設見学と施設説明・質疑応答)</p>	平成31年1月 1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
福祉教育 ボッチャ体験	スポーツ体験で障害について理解をする。 誰でも楽しむことが出来るボッチャが先を読んだり、頭を使うスポーツだと感じてもらう。 ボッチャが運動能力に障害がある競技者向けに考案されたパラリンピックの正式種目で、障害の有無にかかわらず、老若男女、誰でも楽しむことが出来ることをゲームを通して体感する。	平成31年2月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
第3月曜クラブ 初笑い笹野台寄 席劇場	高齢者の介護予防、閉じこもり予防、地域の仲間作りを目的に実施する。 笹野台地区社会福祉協議会と共同開催することで、地域課題や情報を共有し、連携を図る。笹野台地区社会福祉協議会と協働して検討し、介護予防となる内容、楽しみながら参加できる企画とする。	平成31年1月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子でクリスマス コンサート	生演奏を聴く機会のなかなかない未就園児～小学生に生演奏を聴く場を設ける。子どもたちに楽器の素晴らしさや音楽の楽しさを伝える。 クリスマスにちなんだ曲を演奏。 簡単なリトミックやお話。 サンタクロースも登場する。	平成30年12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
登録団体交流会	貸館への理解・ケアプラザ貸館ルール・非常時対応の確認、ボランティアの意識向上とケアプラザの存在意識の周知。 団体同士の横のつながりを作る。	平成31年2月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
笹ケア文化祭 ～趣味探訪展～	自主事業発表の場、当館で活動しているサークルに発表の場を提供する。 地域の方々にサークル活動の認知度を上げ、地域の交流の活性化を図る。 ボランティア活動をお願いすることで、ボランティア育成の場とする。	平成30年11月 1回